慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	倉澤康一郎先生
Sub Title	
Author	山本, 爲三郎(Yamamoto, Tamesaburo)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2010
Jtitle	法學研究:法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and
	sociology). Vol.83, No.11 (2010. 11) ,p.205- 206
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	倉澤康一郎先生追悼記事
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20101128-0205

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

来い。」と叱られるのであるが、それがまた気持ち良い。

倉澤康 一郎先生

我が学部生の頃、先生は女子学生に大変な人気があっれが学部生の頃、先生は女子学生に大変な人気があっれがずかしそうに、眼鏡をかける言い訳をなされるのも、 ・まだ五十前、しかし当時の流行語でいうとロマンス た。まだ五十前、しかし当時の流行語でいうとロマンス なるとき、少し がかしそうに、眼鏡をかける言い訳をなされるのも、 ががかしそうに、眼鏡をかける言い訳をなされるのも、 ががかしそうに、眼鏡をかける言い訳をなる人気があっ

本曜日の夜はつるの屋でゼミの学生と楽しそうにお酒 なる。「君は何も分かっていない。もっと勉強してから 生のお傍にいると、ついつい法律関係のお話を聞きたく からで、そこが良いのだとまた楽しそうに笑われた。先 ませていただいた。樹氷に味がないのは混ぜものがない いでいると、お声をかけてくださり、樹氷のロックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷のロックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷の口ックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷の口ックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷の口ックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷の口ックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷の口ックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷の口ックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹氷の口ックを飲 いでいると、お声をかけてくださり、樹水のは泥せられた。先

じた。

津田先生や髙鳥先生のお話をされるときには温かみを感

行った。 た先生のお話を聞きに(いや樹氷を飲みに)挨拶をしに愉快そうであったと聞くと、性懲りもなくつるの屋でま塩に礼を失さなかったかと心配するのであるが、先生は

もっとも、

酔っているときのことで、酔いが醒めると先

と思う。酒席でも規範の話をされるが、お説教ではない。いが、怖いとは感じなかった。先生は本質的に情の人だたと一様におっしゃる。優しくなられたからかもしれな商法研究会の先輩方は、倉澤先生は昔はもっと厳しかっ
を受けた。先生は学生だからといって手加減されない。
大学院に進学すると、合同演習や商法研究会でご指導

概念法学という言葉が用いられる。酒席ではあるが、倉ばれるような排他的な解釈に陥るとき、批判的な意味でぶのであれば、それは法解釈の基本である。ドグマと呼学の真髄と先輩諸先生の闘いぶりについてであった。物学の真髄と先輩諸先生の闘いぶりについてであった。物学の真髄と先輩諸先生の闘いぶりについてであった。物塾百五十年記念で、先生は「『法概念』のための、『概

をされて、概念法学という言葉は批判的に用いられるこ 方がいらしたようである。先生はとてもうれしそうな顔 ごい概念法学でしたね」と倉澤先生に感想を耳打ちした とを批判するようでは法律学は滅びるのである。二十年 ていた。物事の本質を把握しようとせず論理的であるこ 近く前になるが、私の私法学会での報告について、「す 学すらできないではないか、との趣旨のお話をよくされ

終了後、先生から上手なインタビューだったとほめてい お教えいただきたいことを中心にお聞きしたように思う。 だきたいことが山ほどあった。そこで、私自身が先生に えいただいてきたが、さらに、なお、また、お教えいた 務めさせていただいた。先生には様々な事柄につきお教 機関誌「三色旗」の企画「法学部長に聴く」で聞き手を ただいた。先生の教えを正しく理解していると認めてい 先生が法学部長に就任されてまもなく、通信教育部の 格があると認めていただいたのである。

に話してくださった。私も三田商法学の末席に連なる資 とが多いが、肯定的に概念法学だとほめられたぞ、と私

報いられたであろうか。

ただいたようでうれしかった。

ことがあるが、それじゃあ概念法学をしてみろ、

概念法

ご自身の解釈が概念法学であると批判される

澤先生は、

ご論考でこれまでの論文集に登載されていないものを集 の関係を各ご論考の補訂とした。先生の監査役論を勉強 貴洋君、島田志帆君と分担し合って、新会社法の条文と め、慶應法学会や出版社と交渉し、鈴木千佳子君、 んでいただけたことが何よりであった。学恩に少しでも し直す機会となったことはもちろんであるが、 ることができたのも幸せであった。先生の監査役関連の 先生の論文集『株式会社監査機構のあり方』をまとめ 先生に喜

前に、三田で、あいさつ程度であったが少しお話する機 れた。先生、手酌で一杯やりながらまたお話をお聞かせ 会があった。いつものように穏やかで優しい笑顔であら の夜、長い長い夢を見た。先生とお話ししていたようで、 お強い。奥さまから先生ご逝去のお電話をいただいた日 お教えを受けた。直接先生のお言葉を賜りたい想いはな 一晩中つぶやいていたらしい。お亡くなりになる半月程 慶應義塾の手作りの教育環境の中で、 先生から様々な

法学部教授 Щ 本 ください。